

対タジキスタン草の根・人間の安全保障無償資金協力
ムルガープ行政郡中央クリニック改修及び増築計画 供与式報告

6月3日、「ムルガープ行政郡中央クリニック改修及び増築計画」の供与式が、ゴルノ・バダフシャン自治州ムルガープ行政郡で行われました。中国、キルギス共和国及びアフガニスタンと国境を有する同行政郡は人口14,000人を有し、山岳地帯が多いタジキスタンの中でも特に標高の高いパミール高原に位置します。

本供与式は、ムルガープ行政郡の中心地であるムルガープの町（標高3,600m）に位置する行政郡中央クリニックで行われました。ゴルノ・バダフシャン自治州の東半分を占める同行政郡の医療サービスの中心的役割を果たす中央クリニックですが、病棟は30年以上改修されたことがなかったため、適切に医療サービスを提供できる環境ではありませんでした。今般本計画を通し、既存病棟の改修および6部屋の新規増築が行われました。楽しい祝いとなった本供与式では、ムルガープの人々の笑顔が終始絶えることがありませんでした。



写真上：改修された病棟の様子。

写真中：供与式でスピーチを行う鎌田参事官。

写真下：病棟視察時には、キルギス族の伝統家屋「ユルト」をかたどったケーキがサプライズで披露されました。

写真上：パンと蜂蜜を用いた伝統的な歓迎の挨拶の様子。

写真中：供与式には、大人から子供まで大勢の地域住民が参席しました。

写真下：新設された歯科治療室視察の様子。